

言ふので書く。

規賢君のところで、赤さの杖が二三本あつた。

四尺程の手頃の、樗よりも固くて枇杷の樹よりも折れ難いと言ふ木刀を、一本僕は貰つた。

規賢君のお婆さんは、日蓮宗の凝り固まりだ。

僕が観音經を讀んで聞かすと有難つてゐた。

晩生々會の連中が集つてゐるところへ行つて無駄口を聞く。

芝と一緒に松蔭を歸りよると、無頼漢が喧嘩をして、散髪屋から飛び出した。

オンバザラ タルマ キルク

僕はおどかしてやつたのだ。そいつが家まで追いて來て、隙きを見せると擲り掛かりそうにしたので、も一度おどかして追拂ふ。

僕は自轉車に乗つて、木力を杖についてゐると、犬が噛み付いて來て弱つた。

狂人の心理状態は解つても、犬の心理状態は解らない點が多い。

山の上の女の家から、提灯を借りて歸つた事もある。